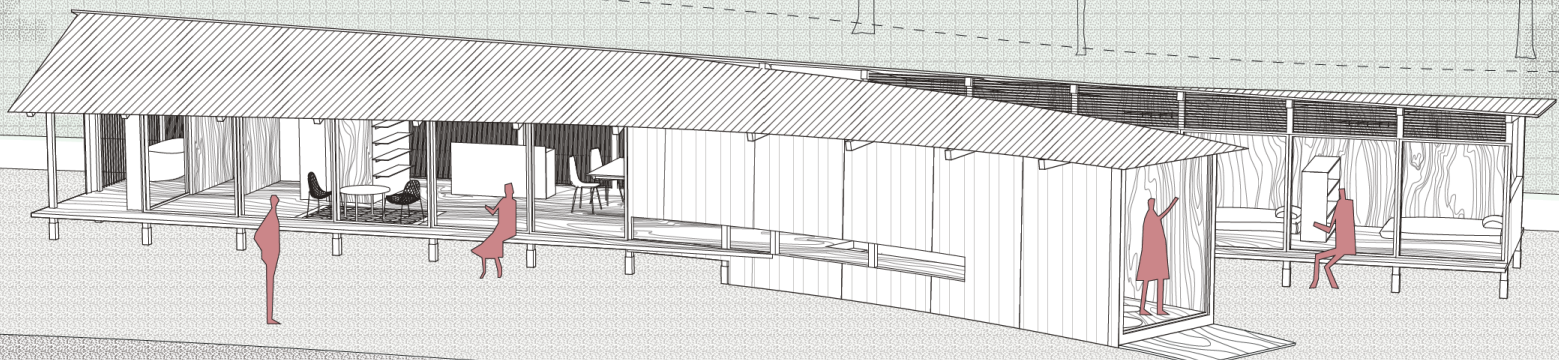


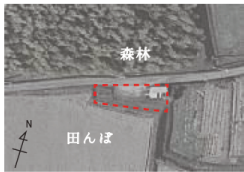
縁側には、広縁（内縁）／濡れ縁（外縁）／入側縁など様々な形態があり、昔から豊かな暮らしが営まれてきた。縁側を局所的ではなく、もっと全体的におおらかな使われ方ができないかと考え、私たちは住宅全体をひとつの縁側と捉えることにした。そうすることで、縁側つまりこの住宅全体から多様な縁が生まれる。それは、田んぼであったり、中庭であったり、夜に輝く星空であったり、道ゆく人々だったり、家族であったり…様々な“縁”に巡り会うような縁側空間を提案する。



## 多様な“縁”のある住処

### 敷地

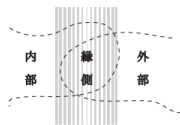
今回、京都にある田園風景と杉や檜のある森林に挟まれた敷地を対象として計画した。森林と田園に挟まれたこの敷地で、自然が住宅を通り抜けるような建築を縁側を利用することで提案する。



### 縁側の魅力

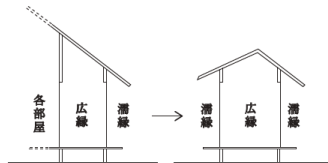
【内と外の曖昧な関係】

- 内部空間の延長
- 外部空間がくっつく
- 内部に入り込む外部
- 外部に入り込む内部



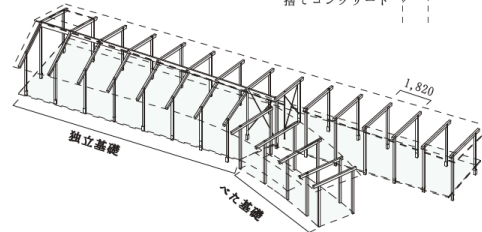
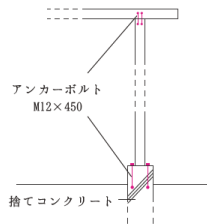
### 成り立ち

縁側が住宅をハックする。縁側が常に隣にある感覚を持つような空間にすることで、自然と人との多様な関わりをもたらす。



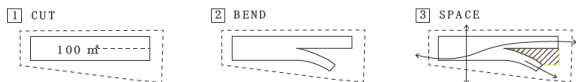
### 構造

京都の歴史ある神社の鳥居のオマージュとしての門型連続フレームの構造とする。また、連続に構造体が続くことで、日本古来の水平性を保ち、日本の空間体験を再現する。



### ダイアグラム

長方形のボリュームの一部に切り込みを入れカーブさせるという単純な操作。伸びゆく縁側の特徴を強調し、目の前に広がる景色と呼応して水平性を保った内部空間を作り出す。



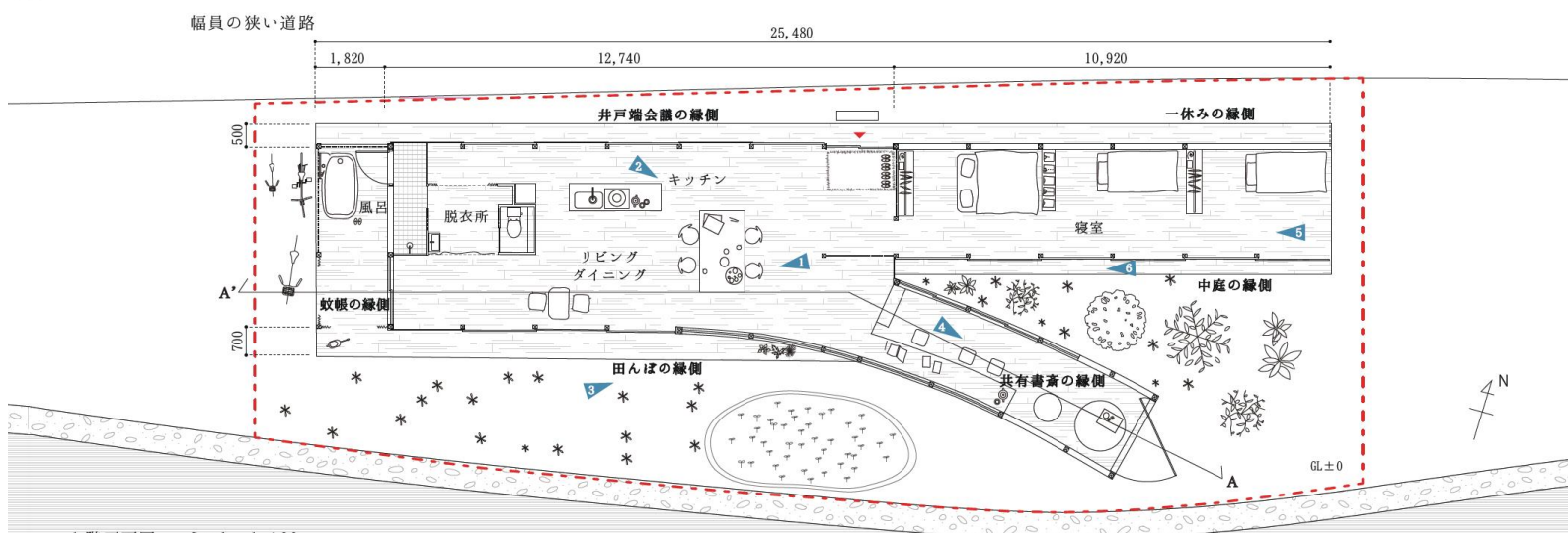
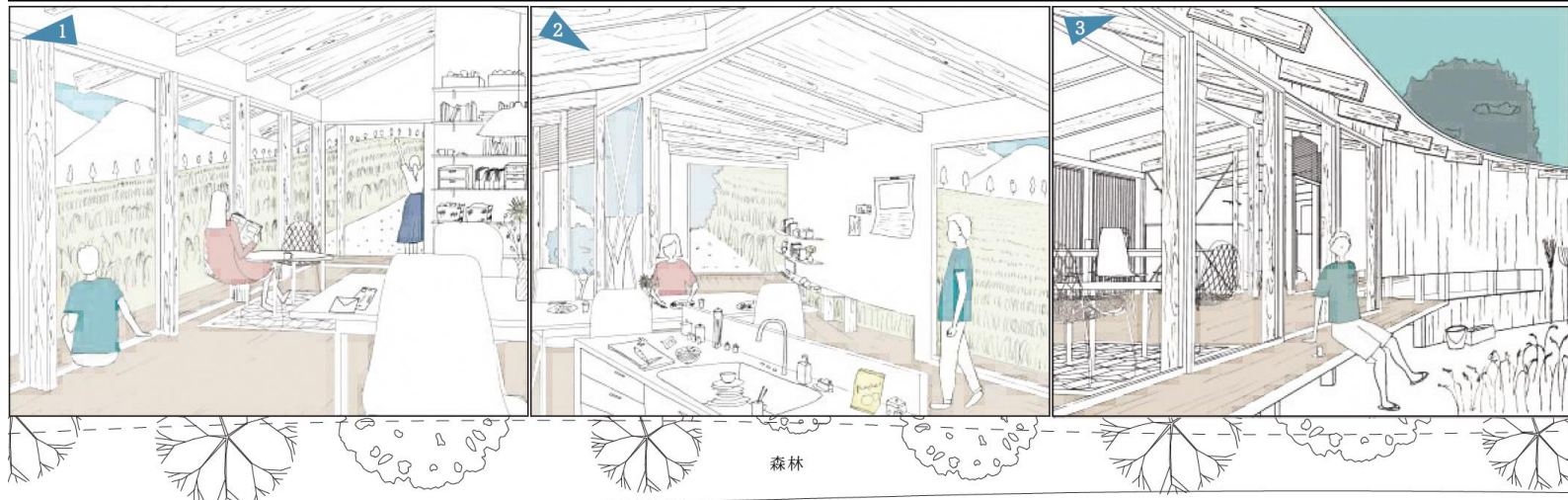
### 素材

京都府内産スギ・ヒノキに包まれた家。各素材は以下の部分に使われる。

- スギ・・・外壁／内部（壁）
- ヒノキ・・・内部（床）／屋根

豊かな縁側空間が広がる住宅。周辺の景色を切り取り内部に引き込み借景する。





1階平面図 Scale 1:100

田んぼ GL-1,100

